

施策名 水と緑を生かしたまちづくり

2113 所管局: **建設局** 共管局: **上下水道局**

概要 自然や歴史環境を生かした公園や水辺環境の整備などを推進し、水と緑を生かしたまちづくりを進める。

総合評価 B (B) 客観指標評価は、街路樹をリフレッシュする事業が昨年よりも良くなっているものの、全体としてばらつきがありどちらとも言えない。
市民の生活実感については、水と緑を生かしたまちづくりであるとの実感が高くやや良い状況にある。
この施策は、市民生活の充実感及び満足感を高めることが目的であり、市民生活実感評価を重視して施策の目的がかなり達成されていると評価する。

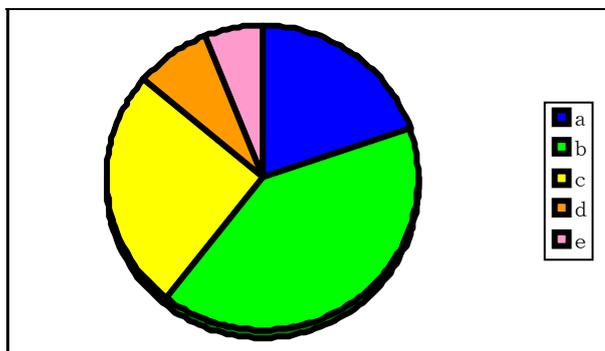
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価 C (b)

指標名	前回値	最新値	目標値	達成度	評価
緑被率(%)	24	25.8			c (-)
河川整備(%)	51.9	53	53.6	98.9%	b (b)
公園箇所数(箇所)	789	799	13	76.9%	c (b)
(準)保存樹・保存樹林の指定件数(件)	34	41	40	102.5%	b (b)
(準)街路樹をリフレッシュする事業(本)	516	569	53	100.0%	a (b)
(準)街路樹(高木)の本数(本)	47208	47401	1131	17.1%	e (d)

○この施策に関する市民生活実感評価

京都市は水と緑をうまく生かしたまちである。



答a: そう思う	103	19.8%	(20.1%)
答b: どちらかというと思う	212	40.8%	(40.9%)
答c: どちらとも言えない	133	25.6%	(24.8%)
答d: どちらかというと思わない	40	7.7%	(7.3%)
答e: そう思わない	32	6.2%	(6.8%)
有効回答数	520		
市民生活実感評価	b		(b)

※ ()は昨年の評価結果及び数値を表しています。

<参考>この施策実現のための主な事業

- 事業名**
- 河川改良
 - 堀川水辺環境整備
 - 梅小路公園
 - 岩倉東公園整備
 - 宝が池公園「新・子どもの楽園」整備
 - 緑化フェア参加負担金
 - 緑の基本計画に基づく緑化推進事業
 - 街区公園の整備
 - 伏見桃山城運動公園(仮称)整備
 - (従)農業啓発
 - (従)農業基盤整備事業
 - (従)土木工事の検査